

◎主な研究成果のご紹介

◆**果実糖度計の高機能化を目指して**

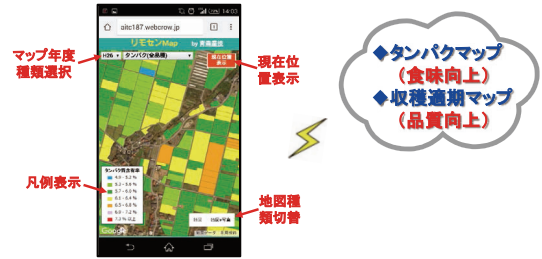
【目的】非破壊果実糖度計の測定結果をスマートフォンやタブレットと連携して容易にデータ管理可能にする。
 【結果】非破壊果実糖度計に内蔵する無線通信回路と組込みプログラムを開発してAndroidに対応したオプションとして商品化した。
 【今後】iPhone対応版を開発する。



高機能非破壊果実糖度計

◆**ICTの利活用による農業分野の効率化を目指して**

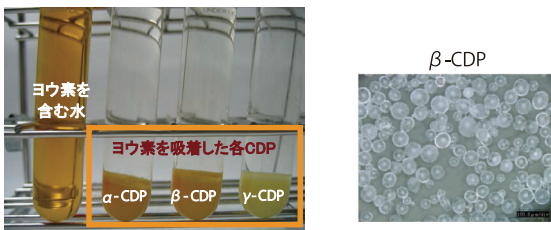
【目的】水稻の食味向上や品質安定化のために開発してきたリモートセンシング技術について現場でも活用可能なシステムを開発する。
 【結果】汎用モバイル端末を用いたマップ表示及び現在位置把握が可能なシステムをWebアプリとして開発した。
 【今後】「青天の霹靂」の生産指導に適用して実証する。



マップ表示用Webアプリ

◆**環境負荷物質の捕集・抽出のために**

【目的】液体中の物質を選択的に捕集・抽出する材料を開発する。
 【結果】水中の有害・有用物質を簡単かつ効率的に捕集・抽出する材料である3種類のシクロデキストリンポリマー(α -、 β -、 γ -CDP)を開発した。
 【今後】開発材料のさらなる応用展開を目指す。



水中のヨウ素を捕集した3種のCDP

◆**ハマナスの香りの商品化のために**

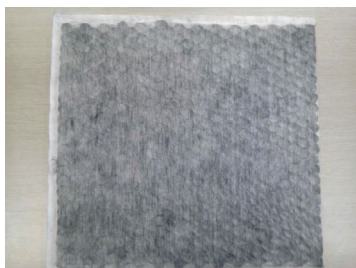
【目的】青森の代表的な花であるハマナスから香りの抽出技術を開発する。
 【結果】冷凍処理や高濃度食塩による香りの抽出技術を開発した。
 【今後】ハマナス花の香りを利用した商品の開発を図る。



ハマナス花

◆**剪定枝等を活用した活性炭を製造するために**

【目的】悪臭を早く除去するフィルタを開発する。
 【結果】リンゴ剪定枝由来活性炭からこれまでよりも悪臭を早く除去するフィルタを開発した。
 【今後】技術移転による商品化を目指す。



リンゴ剪定枝由来活性炭を用いたフィルタ

◆**非破壊による成分測定を目指して**

【目的】近赤外線による非破壊検査装置を開発する。
 【結果】果物や芋類の水分や糖分等を測定する装置を開発した。
 【今後】他の作物や害虫等の遺物検査への応用を図る。



成分測定装置

◎その他の試験・研究・調査のご紹介

- ◆地域資源の高付加価値化に関する研究
- ◆LED信号灯器着雪・凍結対策の実用化に関する研究

- ◆バイオマス資源利活用技術の開発
- ◆中低温排熱の熱利用シミュレータの開発